

特集

6月1日～7日は水道週間です 「大切な水と一緒に暮らす日々」 ※令和4年度スローガン



令和3年度最優秀賞
犬塚小学校 柳祐衣さん

水道週間とは…

水道週間は、水道についての理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るため、1959年(昭和34年)に始まり、毎年全国一斉に実施されています。

児童図画作品を公開

小学生のみなさんが描いた水に関する図画作品のうち、今年度の入選作品を市ホームページで6月上旬公開予定です。



水道週間の取り組みを紹介します



ボトル水で水質保をPR

久留米市の水道水のおいしさと筑後川の水質保をPRするため、筑後川のめぐみ(ボトル水)を無料配布する街頭キャンペーンを実施しています。



大谷川の清掃で水源を守る

久留米市の水道水源を守るため、太郎原取水場のすぐ上流にある大谷川を、地域住民の皆さんと一緒に年2回清掃しています。

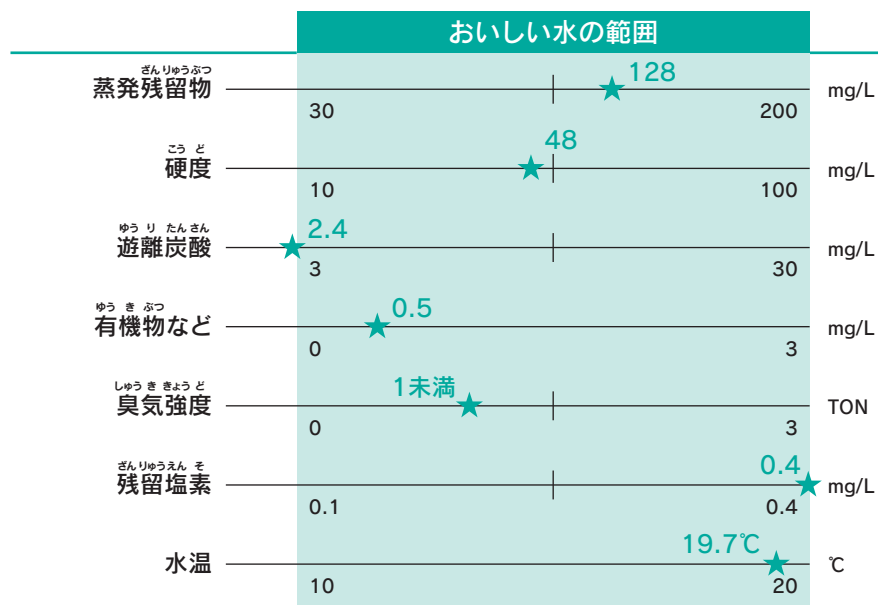
シリーズ 数字で見る! 2 久留米のおいしい水のひみつ



このグラフは、1985年に厚生労働省の「おいしい水研究会」が発表した「おいしい水の要件」を表したものです。水中に含まれているミネラルや残留塩素の量、水温といった7項目について、数値を定めています。

令和2年度の水質検査結果を見ると、久留米市の水道水は、おいしい水の7つの要件のうちほとんどを満たしていることがわかります。

★は令和2年度の水質検査結果(平均)



夏は、冷やして飲むとおいしいっば



くっば 久留米市イメージキャラクター

主なおいしい水の要件

- 蒸発残留物 ミネラル分の含有量で、適度に含まれるとこくのあるまろやかな味がします。
- 硬度 カルシウムとマグネシウムの含有量で好みにもよりますが、硬度が低いとクセがなく、高いと硬く重たい感じがします。
- 有機物など 有機物の量で、多いと渋くなります。

※有機物については、水質基準項目の有機物量(TOC量)を掲載しています。

おいしい水の秘密はこちらから



令和4年度上下水道事業会計予算をお知らせします

水道事業会計 80億3,200万円

- 安全** 浄水場の運転監視業務委託(24時間365日)など 4億3,300万円
- 強靱** 老朽化した水道配水管の更新など 34億3,600万円
- 持続** 漏水防止対策の推進や給水スポット設置など 4億6,300万円

下水道事業会計 212億4,800万円

- 安全** 下水道の布設や大雨時の浸水対策など 102億4,600万円
- 環境** 安定処理のための処理場運転管理など 15億9,200万円
- 持続** 生活排水処理基本構想の見直しや使用料徴収業務など 1億2,700万円



市ホームページでも公開中



水道配水管の更新の様子



久留米大学の雨水貯留施設工事の様子

庁舎ZEB化改修工事で環境にやさしい施設へ



改修後の庁舎

ZEBとは…

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略)で、建物に必要なエネルギーを省エネと創エネで実質ゼロを目指すものです。

既存の水道庁舎では全国初

令和3年度から進めていた久留米市企業局庁舎のZEB化改修工事が完了しました。既存の水道庁舎としては、全国初となる、「ZEB Ready」の認証を取得しました。空調や照明の省エネ化などで、改修後のエネルギー使用量とCO₂排出量が半減し、環境にやさしい施設へと生まれ変わりました。

また、新たに設置した太陽光発電・蓄電システムにより、災害時の電力の確保がより強化されました。



屋上の太陽光パネル



リチウムイオン蓄電池

